

令和3年度事業報告

中野区立療育センターアポロ園

(はじめに)

療育センターアポロ園の事業運営目的は、「障害やさまざまな発達上の課題のある子ども達が、自分のもっている力を十分に発揮し、家庭や地域の中でともに生活ができるようになるための支援をする」こととしています。

平成26年度より社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会が指定管理者として運営を始めて、令和3年度は8年目となりました。各事業評価などを分析し改善を図るとともに児童発達支援事業アンケートで寄せられたご意見やご提案などから、着実な事業の実施に向けて取り組んでまいりました。また、職員の確保・定着・育成を図り円滑な事業運営に努め、利用者サービスの一層の向上を図ってまいりました。

I 運営方針

- (1)各事業のサービス提供にあたっては、児童が持っている力を十分引き出し、日常生活の中で運動面及び精神面の発達を促し、社会の中で生きていく力を身につけるための支援を行います。
- (2)児童の家族が当該児童の状態を正しく知り、子育ての力を身につけて当該児童にとって今何が必要かを考え実行するための支援を行います。
- (3)サービスの提供にあたってはプライバシーの保護や人権擁護の徹底を図り、児童及び保護者に対し、理解しやすいよう説明を行います。
- (4)必要により保育及び教育に関する情報並びに、福祉サービスについて情報の提供を行います。

II 職員配置

常勤職員：園長1名・事務職1名・児童発達支援管理責任者1名・保育士4名・児童指導員3名・心理職5名・看護師1名・理学療法士1名・作業療法士2名、相談支援専門員1名 計20名
非常勤職員：心理職7名・保育士3名・児童指導員3名・言語聴覚士3名・看護師1名・事務職2名・歯科衛生士1名 計20名
嘱託医師：小児神経医師1名・小児科医師2名・児童精神科医師2名・水療育講師1名 計6名

Ⅲ 事業内容

1 児童発達支援事業

中野区内に在住し、通所受給者証の交付を受けた児童(医療的ケアを必要とする児童も含む)に対して 3 クラスに分けて支援を行いました。

1 日定員は 40 名で運営してまいりました。

・開所日数:282日

・契約者数:325人

・延べ利用人数 9,134 人(令和 2 年度 7,516 人)

・利用率 81%(令和 2 年度 66%)

(1)通園

ア 2 歳児以下クラス(ラッコクラス)

・契約者:53人(令和4年3月31日時点)

・年間利用率 66%

☆2 歳児

・週 2 日(親子通園)

・1 日定員 14 人

・10 時 00 分から 13 時 00 分

☆あおぞら・1 歳児:週 1 日水曜日(親子通園)

・1 日定員 7 人

・13 時から 14 時 30 分

☆かたつむりグループ(3 歳児・幼稚園併用グループ)

・1 日定員 7 人

・10 時から 13 時

・週 1 日(水曜日)親子通園

イ 3 歳児以上クラス(コアラクラス)

・契約者 18 人(令和4年3月31日時点)

・利用率 80%

・1 日定員 16 人

・10 時から 14 時 30 分

・週 5 日

(3・4 歳児:週 3 日単独通園・2 日親子通園、5 歳児:週 5 日単独通園)

(2)個別

ア 個別指導クラス

・契約者:254人(令和4年3月31日時点)

①平日

・一日定員 10 人

・利用率 99%

②土曜日

・一日定員 40 人

・利用率 87%

(3)保護者教室の実施

<通園クラス>

①令和3年11月5日(月)ラッコクラス保護者

テーマ:言葉の発達について

講師:二階堂 和子(言語聴覚士)

参加人数:10 人

②令和3年11月24日(水)コアクラス保護者

テーマ:コミュニケーションを育てるために

講師:二階堂 和子(言語聴覚士)

参加人数:11 人

③令和3年11月25日(木)ラッコクラス保護者

テーマ:身体を使って外の世界を知ろう、学ぼう

講師:松尾 道子(作業療法士)

参加人数:11 人

④令和3年11月30日((火))ラッコクラス保護者

テーマ:身体を使って外の世界を知ろう、学ぼう

講師:松尾 道子(作業療法士)

参加人数:13 人

⑤令和3年12月3日(金)コアクラス保護者

テーマ:からだの発達について～遊びの視点から～

講師:松尾 道子(作業療法士)

参加人数:14 人

⑥令和3年12月6日(月)ラッコクラス保護者

テーマ：言葉の発達について

講師：二階堂 和子(言語聴覚士)

参加人数：16 人

<個別指導クラス>

①令和 3 年 7 月 31 日(土)

テーマ：ポストコロナの丁寧な子育て～バランスの良い発達のために～

講師：帝京科学大学助教 田口 直子氏

参加人数：10 人

2 療育相談事業

中野区に在住する未就学児を対象としており、発達上の課題や障害があると思われる児や保護者の相談を受けアセスメントを行い対応方法の提案をしました。対象児のニーズや支援の必要性に応じて適切な期間で対応をしました。

- ・実施日：原則、月曜日及び火曜日(第 2・第 4)

- ・療育相談件数：248 件(令和 2 年度 192 件)

3 保育所等訪問支援事業(令和 3 年度新規事業)

中野区内に在住し、通所受給者証の交付を受けた発達上の課題や障害があると思われる子どもが在籍する保育園・幼稚園などに、訪問支援員が定期的に訪問し、対象児に対して直接支援・間接支援を行いました。

- ・年間訪問目標：1 名につき年 3 回程度

- ・登録者数：325 人(令和 4 年 3 月 31 日時点)

- ・延べ利用人数：782 人

- ・延べ訪問園数：380 園

4 障害児相談支援事業 アポロ

児童福祉法に基づく「相談支援事業所」です。

- ・開設日：月曜日から金曜日

- ・開設時間：9 時から 17 時

- ・障害児相談支援援助：297 件(令和 2 年度 210 件)

- ・継続障害児相談支援援助：151 件(令和 2 年度 109 件)

5 一時保護事業

中野区内に在住する小学生以下の発達障害のある児童の保護者が、対象児を介護することが困難になった時に、児童を一時的に保護し、当事者の福祉の増進を図りました。

- ・実施日：月曜日から土曜日 9 時 00 分から 18 時 00 分

- (但し土曜日は 16 時 00 分迄)
- ・延利用人数:229 人(令和 2 年度 177 件)
 - ・延利用日数:167 日(令和 2 年度 136 日)
 - ・医療的ケア受け入れ件数:0 件(令和 2 年度 0 件)

6 おもちゃライブラリー事業

おもちゃ及び関係図書を、発達促進と福祉の増進に寄与することを目的に、療育センターアポロ園内におもちゃライブラリーを置き地域開放しました。(新型コロナウイルス感染防止のため、緊急事態宣言中は休室。まん延防止措置期間中は対象者、利用時間、入室人数の制限を行いました。)

- ・利用人数:195 人(令和 2 年度 343 人)
- ・貸出点数:277 点(令和 2 年度 146 点)

7 児童発達支援事業利用児のきょうだいで対応保育人事業

児童発達支援事業では、通園児への日常生活における基本動作や集団生活への適応指導など、療育を通して保護者も含め実施しています。通園児と一緒にきょうだい児が来園した時、きょうだい児に対応する保育人を確保してきょうだい児を支援する事業を実施しました。

- ・登録児 :11 人(令和 2 年度 9 人)
- ・利用延べ人数:139 人(令和 2 年度 32 人)

8 中野区立療育センターアポロ園地域資源啓発事業

発達障害児に対する正しい理解と適切な対応を促進する目的のもと、地域の私立幼稚園や保育園の保育者等を対象に学習会を開催しました。

<第 1 回>

- ・開催日:令和 3 年 11 月 12 日(金)
- ・テーマ:感覚統合の視点から子どもを理解する
- ・講師:よこはま港南地域療育センター 松本 政悦氏(作業療法士)
- ・参加人数:37 人

<第 2 回>

- ・開催日:令和 4 年 2 月 18 日 (金)(ZOOM による開催)
- ・テーマ:保護者の気持ちの理解と支援
- ・講師:子どもの発達支援を考える ST の会代表 中川 信子氏(言語聴覚士)
- ・参加人数:54 人

9 「私立幼稚園特別支援教育補助金申請」に必要な判定書の作成

療育相談を受けたお子さんについて私立幼稚園からのご依頼があった場合は判定書の作成をしました。

・作成件数:55 件

以上